



Meito 2年進路だより

2025/01/09

No.06

名古屋市立名東高等学校進路部



2025年……高校生活の集大成の年です

新しい年を迎えました。本年もよろしくお願いします。

高校生活の集大成の年となりました。ここまで取り組んできたことを、最後まで成し遂げられるように全力を注いでください。特に部活動に日々熱心に取り組んでいる人は、悔いの残らぬようしっかりとやり切ってください。

勉強との両立は入学以来ずっと言われ続けていることだと思いますが、その真骨頂を示すときです。部活動と勉強の両立は“竹馬”に例えられます。右手右足を踏み出したら、同じように左手左足を出します。右左右左……とテンポよく動かすことで安定して進んでいけます。右ばかり、左ばかり出そうとすれば、すぐに転んでしまいます。平日2時間一生懸命部活動に励んだら、その後2時間以上勉強も頑張る。土曜日一日練習試合等に出掛けたら、日曜日一日勉強も頑張る。部活動も勉強も、妥協せずに高い目標を掲げ、どちらも成し遂げられるように励んでください。



3年生の先輩たちの姿を追い、来年の自分の姿をイメージしよう

名東高校では学年ごと教室のフロアが異なりますし、2学期終業式や3学期始業式も教室で配信を見る形式なので、3年生の今の雰囲気を感じる機会がないかもしれません。北棟2階や4階の廊下に設置されている学習スペースは、今も毎朝満席です。7時から勉強を始めるのが日課の人たちもいます。真冬の寒さを物ともしない集中力で、見ているこちらにも気が引き締まります。学校開放の図書館をフル活用している人たちもいます。いずれにしても、3年生はみな入試本番を直前に控え、緊張感が高まる中で頑張っています。そうした姿の一端に触れ、来年の自分に置き換えてもらえたらと思います。

入試のスタートは今年18日(土)・19日(日)に行われる『大学入学共通テスト』です。会場は名東高校です。名東高校が会場の1つになっていることで、名東生は自分の学校で受験ができるという大きなアドバンテージを持っています。(名東高校会場は、他にも複数の学校が割り当てられています。彼らは慣れない名東高校で受験しなければならないのです。)

翌日の20日(月)には自己採点結果を河合塾、駿台・ベネッセに送り、志望校の合否判定リサーチにかけます。全国から集められたデータをもとに、各予備校は22日(水)に結果を発表します。その結果に照らして、国公立大学入試や私立大学の共テ利用方式入試への出願先を検討します。そのため正確に自己採点ができていると、正しく受験戦略が立てられません。みなさんも2月2日(日)に受験する『全統共通テスト高2模試』から“本番を見据えた自己採点の練習”をしっかりとってください。

大学入試センターは、共通テストの得点調整の有無を24日(金)に発表します。平均点等の情報は、中間発表が22日(水)、最終発表が2月6日(木)です。みなさんもこうした情報をしっかりキャッチしてください。ちなみに、国公立大学入試への出願は、前期・中期・後期いずれも2月5日(水)までです。

2月1日(土)頃から私立大学の一般選抜入試が始まります。受験する大学の校数など、一人一人異なります。地元の大学しか受験しない人、東京方面や関西方面へ泊を伴う受験をする人、これも人それぞれです。県外の大学を名古屋会場で受験する人もいます。国公立大学に絞って私立大学を受験しない人もいま

す。出願はこの冬休みあたりから始まっています。出願手続きは、受験者情報のネット登録、受験料の払い込み、関係書類の送付等、すべて受験生本人が行います。もし締め切りに遅れると、一切受け付けてもらえません。

国公立大学の一般選抜入試は、前期日程が2月25日(火)から行われます。卒業式(3月3日(月))をはさんで、中期日程は3月8日(土)から、後期日程は3月12日(水)から行われます。共通テストの問題や名古屋大学などの有名大学の入試問題は、解答もあわせて新聞やネットに即日公表されます。是非とも確認してみてください。

共通テストについては、教室掲示等で案内した『共通テストチャレンジ』等に参加を予定している人も少なくないと思いますが、まだ予定していない人も実際に問題を解いてみてください。理科や地歴・公民では、まだ授業で未習の部分もあるかと思いますが、これまでの学習で得てきたものと入試の差を体感し、今でもできること、これからできるようにしていくことを考え、ここからの勉強への見通しがつけられるといいと思います。まず一歩踏み出してみましょう。



大学入試の流れを知ろう！

今できる！の欄については、今から積極的に取り組んでいこう！3年0学期はもう始まっている！

時期	流れ・先輩たちの学習状況など	今できる！・補足情報など
1月～3月 準備期間	共テ模試(2/2)・記述模試(1/26) 受験まであと1年という時期。まずは、入試のしくみを理解し、気になる大学・学部研究をすすめたという先輩が多いようです。	今できる！ ・授業を中心に、「予習→授業→復習」のサイクルをつくろう！ ・1・2年生で学習した内容を見直し(とくに英語・数学・国語)、苦手分野を克服しよう！
4月～6月 基礎力養成	#1 共通テスト模試+記述模試(5月) 入学者選抜要項発表(6月) 3年進級。部活動も引退の時期。1・2年生とは異なる学習環境が始まります。いいスタートが切れるよう、学校の授業を中心に毎日学習する習慣を身につけていました。	今できる！ ・焦らず自分のペースで勉強する基礎固めの時期。 ・学習開始時間を決め、毎日学習する習慣を身につけよう！ ・平日でも学年+1時間以上の学習時間の確保を目指そう！
7月～8月 基礎力完成	オープンキャンパスに参加(7月～8月) #2 共通テスト模試+記述模試(8月) 夏休みは、受験生にとって苦手克服のラストチャンス。文化祭準備も並行させながら、先輩たちは徹底的に復習を行い、基礎力の完成を目指しました。	・理科・社会の未習分野に取り組もう！ ・学校の夏季講座を受講して、弱点を補強しよう。 ・オープンキャンパスや大学説明会などに参加し、あこがれの大学生生活を想像して、モチベーションアップを図ろう！
9月～12月 実力養成	共通テスト出願(9月下旬) #3 共通テスト模試+記述模試(10月) プレ共通テスト模試(11月下旬) 先輩たちは、志望校の過去問演習などの実践的な受験勉強を開始し、実力を養成しました。	・国公立大2次試験や私大入試に向けて、進路室の赤本を利用して過去問に取り組み始めよう。 ・これまで受験した模試の復習をすることも受験勉強として有効です。 ・私立大の学校推薦型(公募制)の利用も視野に入れた受験生もいます。
1月～3月 入試直前	大学入試共通テスト(1/17・18) 私大一般入試(2/1～) 国公立大前期日程(2/25～) 国公立大後期日程(3/12～) 先輩たちは、入試で忙しい中でも、2月中旬の終講まで学校に登校し、友達と話をしてお互い励まし合っていました。	・12月からは「共通テスト」対策をしよう。その際、時間を意識して取り組もう。 ・共通テストが終わったら、進路室の赤本を活用して志望校の過去問演習をしよう。 ・小論文や自由英作文などは、先生に添削してもらい、実力をつけよう。 

📖 大学入試（一般選抜）のしくみを知ろう！

◇大学入学共通テスト～毎年1月中旬の土・日2日間で全国一斉に実施される日本最大規模の試験～

「大学入学共通テスト」は各大学が独立行政法人「大学入試センター」と共同で実施する試験です。国公立大学の一般選抜受験者は、原則共通テストを受験しなければなりません。また、多くの私立大学でも共通テストの成績を利用する「共通テスト利用方式」を設定しています。大学進学を考える受験生にとって、この共通テスト対策は必須と言っても過言ではありません。

合否判定に用いられる共通テストの教科数や指定教科（科目）は大学によって異なります。国公立大学の多くが6教科8科目（英・数2・国・情+理系：理2+地公・文系：理+地公2）で、公立大学では変則的なところもあります。私立大学の共通テスト利用方式では2～3教科が一般的ですが、国公立大学との併願に有利な5～6教科の設定がある大学もあります。

1日目

教科	出題科目	試験時間	配点
地理 歴史	6科目から 最大2科目選択 「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「地理総合、歴史総合、公共」	1科目 60分 2科目 130分 (解答時間 120分)	1科目 100点 2科目 200点
	「公共、倫理」 「公共、政治・経済」		
公民			
国語	「国語」	90分	200点 現 110 古 45 漢 45
外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	英語リーディング、その他外国語 80分 英語リスニング 60分 (解答時間 30分)	200点 英語は R 100 L 100

2日目

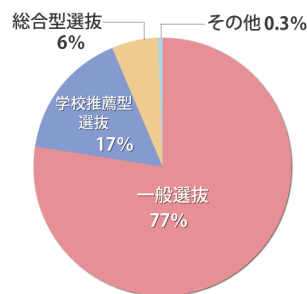
教科	出題科目	試験時間	配点
理科	5科目から 最大2科目選択 「物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎」 ※いずれか2科目の内容を 選択解答 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	1科目 60分 2科目 130分 (解答時間 120分)	1科目 100点 2科目 200点
数学	1科目選択 「数学Ⅰ、数学A」 「数学Ⅰ」	70分	100点
	「数学Ⅱ、 数学B、数学C」 ※数学B、数学Cは各2項目 出題のうち3項目選択	70分	100点
情報	「情報Ⅰ」	60分	100点

◇国公立大学～一般選抜は、「共通テスト+2次試験（個別学力検査）」で決まる～

国公立大学でも、近年、総合型選抜や学校推薦型選抜の募集人員枠が拡大していますが、依然として一般選抜の募集人員枠が全体の約8割を占めています。国公立大学志望者は、まず一般選抜での受験を考えて受験勉強をスタートさせるべきでしょう。

一般選抜は、1次試験的役割の「共通テスト」の得点と、大学別に実施される「2次試験（個別学力検査）」の得点の合計で合否を判定するケースが一般的です。出願期間は共通テスト後に始まるので、共通テストの自己採点結果に応じて出願先を決定します。

2次試験は「前期日程」「後期日程」に募集人員を振り分けて実施されますが、近年、難関大学を中心に「後期日程」が廃止・縮小されています。受験生は「前期日程」と「後期日程」にそれぞれ1校ずつ出願でき、同じ大学・学部を2回受験することも、別々の大学・学部を受験することもできます。また、一部の公立大学では「中期日程」を設定する大学もあり、これらをあわせて最大3校の受験が可能です。入試科目としては、従来通り、文系学部は英語を中心に国語・数学・地歴公民などから1～3教科、理系学部は英語・数学・理科の3教科を課す大学が主流です。



◇私立大学～多種多様な選抜方式～

私立大学の一般選抜では、統一した入試日程は設定されておらず、各大学が自由に入試日程、選抜方法を設定しています。試験日が重ならなければ何校でも受験できます。

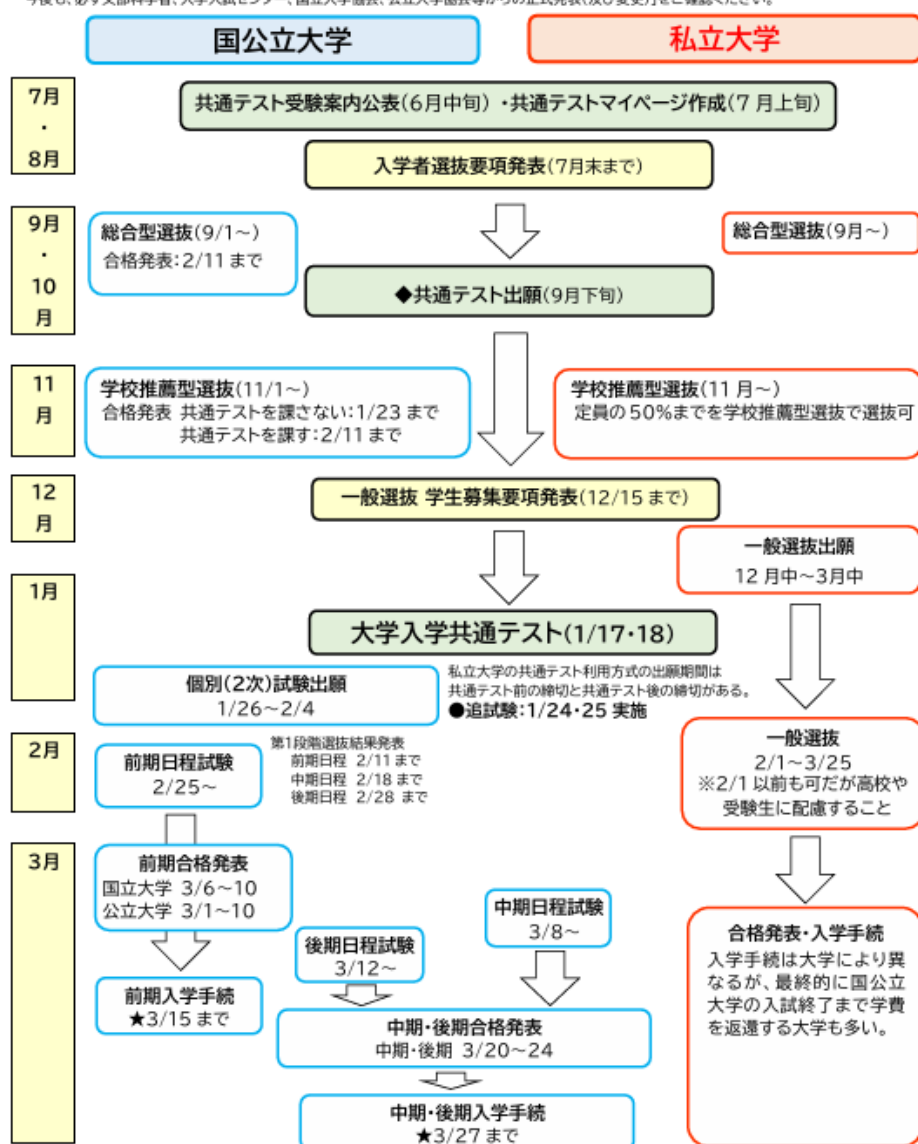
各大学で試験を実施する「一般方式」は2月初旬から中旬にかけて行われます。入試科目は3科目型（文系：英・国＋数 or 地公、理系：英・数・理）が一般的ですが、科目数や受験科目を選択できる方式、特定科目の配点比率を高くする方式、小論文や論述試験で選抜する方式、民間の英語資格などに加点する方式、共通テストを利用・併用する方式など大学によってさまざまな設定があります。

また、本学以外で受験できる地方試験会場の設置、他大学との併願をしやすくする試験日自由選択性、前半の入試で合格発表後に出願できる後期入試など、さまざまな受験機会の設定もあります。

2026 年度入試 年間スケジュール <2024 年 12 月現在>

※スケジュールは 2024 年 12 月現在のものです。

今後も、必ず文部科学省、大学入試センター、国立大学協会、公立大学協会等からの正式発表（及び変更）をご確認ください。



◆オンラインによる出願となりますが、各学校からの指示に従ってください。

★手続最終日の取扱いは大学により異なりますのでご注意ください。

資料

駿台予備校 HP より